



Hello kazuma yamane,

for a Video Edit Award, from
your submission of dance.



ダンコミプロジェクト (Dance Communication Project) とは
子供たちの底知れぬパワーを「ダンス」を通しコミュニケーションの輪を広げていくプロジェクトです。

KAZUMAからのメッセージ

僕自身がダンスに出会ってから、ダンスを通して様々な人と出会い、色々な人に支えられながら役者という仕事にまで出会えました。本当に数えきれないくらい多くの仲間を得ました。ダンスを通じて、夢をも越え、自分が思ってもいなかった道へ進むことが出来る可能性が、無限に広がる事を伝えたい。それがこのプロジェクトを始めたきっかけです。全国津々浦々、あらゆる場所を訪問します。“ダンスの楽しさ”を伝えるため、ダンスを通じて子供達と交流し、踊る事、ものづくりの楽しさを共に共有していきます。子供達をメインとし、僕らとコラボレートとしながら、その時々でひとつのミュージックビデオを制作していきたいと思っています。みなさんの好きな場所でダンスを通じてキッズと家族がハッピーになり、笑顔あふれる様子を、僕らのサイト上で公開し、別の地域同士でも動画を通じて交流出来るようなきっかけを作りたいと思っています。



2016年
全国アゲアゲチャレンジ動画
米国GoPro,Inc. GoProAWARDS受賞

ダンコムプロジェクト

2015年9月
鹿児島指宿市

2015年10月
山梨県上野原市

2015年10月
神奈川県横浜市(ハロウィン)

2015年11月
愛知県名古屋市「味仙」

2015年12月
岩手県北上市

2015年12月

岩手県 NPO法人 未来の扉

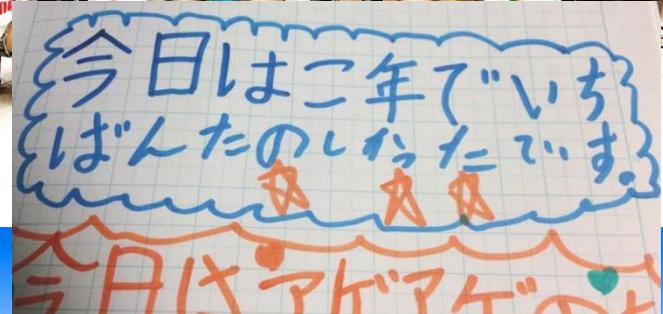
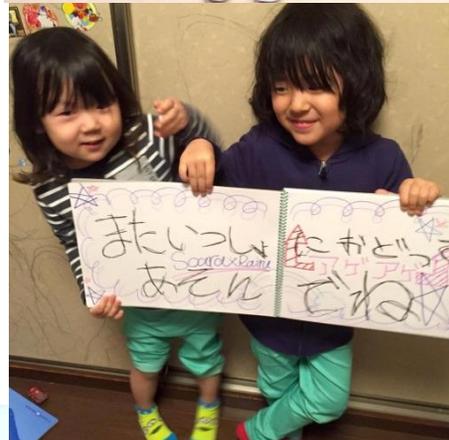
～障がい者のストリートダンス教室～

2016年4月
東京都昭島市

2016年5月
愛知県豊橋市

2016年9月
山口県宇部市

2016年12月
静岡県浜松市



ダンコミプロジェクト

多文化共生時代といわれる 21 世紀を生きる子どもたちにおいて、文科省が掲げる「コミュニケーション能力」「メディアリテラシー教育」という課題解決に繋がる時代に沿った総合体験プロジェクト。
各芸術の分野で活躍する指導者と、教育の現場にも取り入れられている“ダンス”を含めたワークショップを通して、楽しみながら「人とのコミュニケーション」や「自己表現」「想像力」を育てるとともに五感を使い、身体全体で吸収しながら“ものづくり”を体験することで得る「知ると解るの違い」を体感する。
さらに“ものづくり体験”をその場限りのものではなく“映像”として残すことで、何度も「ふりかえり」ができる。

ワークショップ

<具体的なプログラム名>	<主なポイント>
グループ会議	<p>年代別のグループに分ける。 (小学校低学年、中学年、高学年、中学生、高校生、大学生・成人) ※保護者は子供のチームに参加する</p> <p>ダンスで用いる音楽、歌詞を読み込み、そこからイメージする振付、芝居、演出、カメラワーク衣装を考え話し合う(それぞれのグループごとにパートを決める)</p> <p>色々な価値観を持つ人たちとの話し合いを体験する事で、他者の意見を認識しまた自ら深く考え相互関係を深めることができる。</p>
ダンスレッスン、映像制作	<p>・ダンスレッスン 会議で話し合ったことを講師と一緒にダンスを作っていく(各グループ毎に指導者が1人付く)</p> <p>・映像制作 ダンスミュージックビデオを作るという目標のもと、それぞれに出来る事を分担しコミュニケーションを図ることで「リーダーシップ」や「協調性」を養う。 映像制作に関わることで「作り手」「受け手」としてのメディア・リテラシーを育てる。</p> <p>身体全体で表現しながら感情を開放し、相手の感情を受け入れる コミュニケーションの成功体験を味わうことができる。</p>
発表、相互評価	<p>完成した映像を観て「ふりかえり」を行い、意見交換をする。 発表会としての体験だけではなく、映像として観ることで客観視ができる。 自分以外の仲間やスタッフ、保護者の支えがあって成立するという事に気づくことで互いにリスペクトし合う気持ちを体験させる。</p> <p>子供達が互いに多面的に評価されることで「自己肯定感」「自信」に繋がる。 映像として残ることで各々いつでも「ふりかえり」ができ、更なるリテラシーを育てることができる。</p>